

## 医療関連データ集

### 1. 基準病床数および既存病床数

2002年4月1日現在

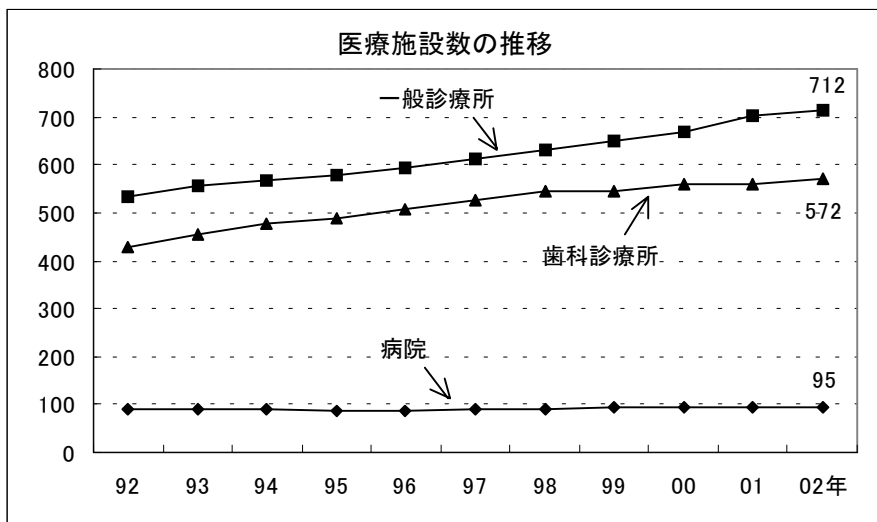
病床種別	保健医療圏	基準病床数	既存病床数	差
一般病床	北部保健医療圏	1,039	1,039	0
	中部保健医療圏	3,932	3,967	35
	南部保健医療圏	6,311	7,046	735
	宮古保健医療圏	589	643	54
	八重山保健医療圏	432	432	0
	合計	12,303	13,127	824
精神病床	県全域	4,855	5,630	775
結核病床	県全域	232	181	-51

県内の病床数は結核病床を除き医療法の定めによる基準病床数を充足している。

(資料)  
県福祉保健部  
「福祉保健行政の概要」

### 2. 医療施設の動向

#### 2-1. 医療施設数の推移

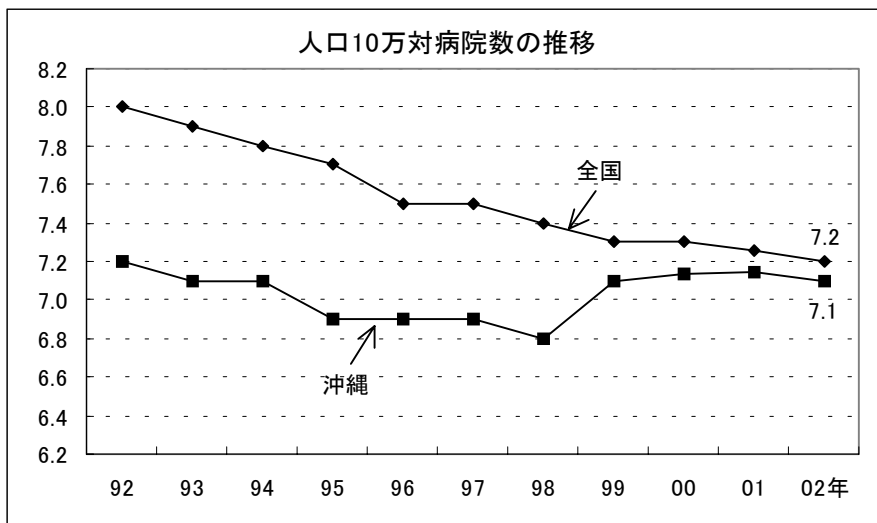


病院は横ばい。  
一般診療所、歯科診療所は緩やかな増加傾向が続いている。

(資料)  
県福祉保健部  
「衛生統計年報」  
厚生労働省  
「医療施設調査・病院報告の概要」

#### 2-2. 人口10万人当たりの施設数

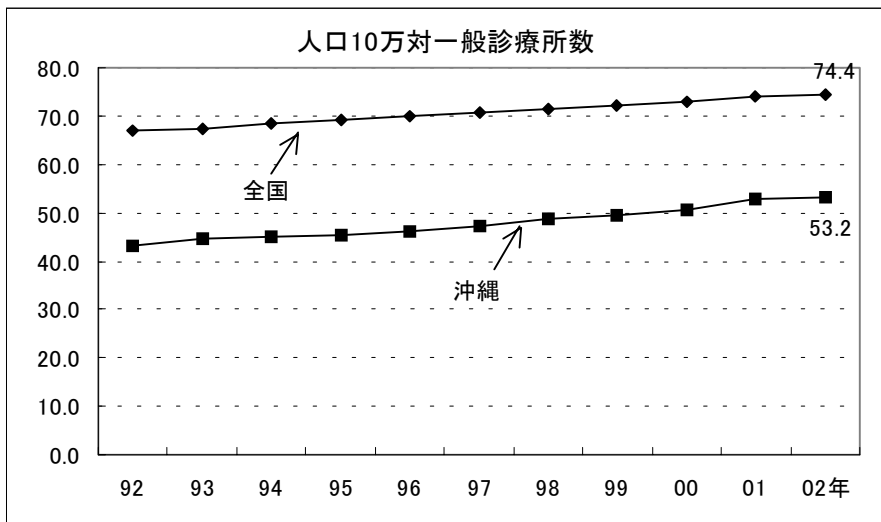
##### (1) 人口10万対病院数の推移



人口10万人当たりの病院数は頭打ちから減少へ。  
整備水準はほぼ全国並みとなっている。

(資料)  
県福祉保健部  
「衛生統計年報」  
厚生労働省  
「医療施設調査・病院報告の概要」

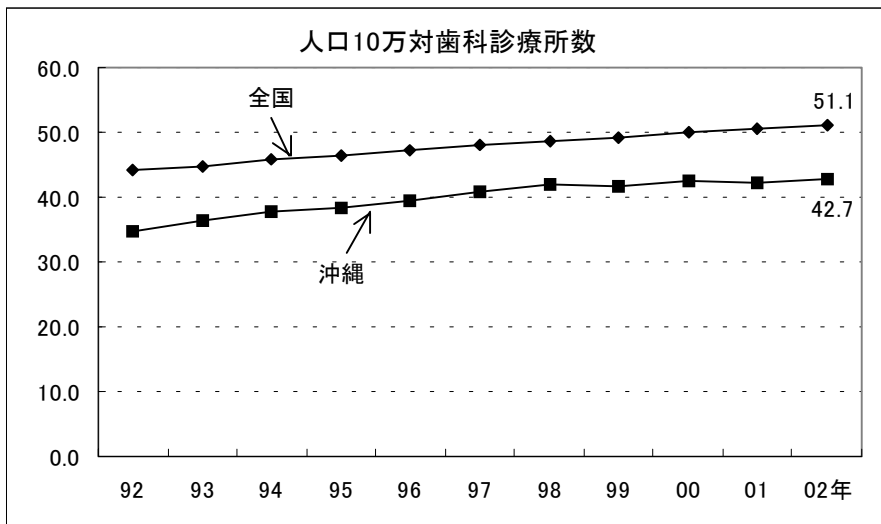
(2) 人口10万対一般診療所数の推移



一般診療所数は漸増傾向。  
全国との差は縮小せず。

(資料)  
県福祉保健部  
「衛生統計年報」  
厚生労働省  
「医療施設調査・病院報告の  
概要」

(3) 人口10万対歯科診療所数の推移

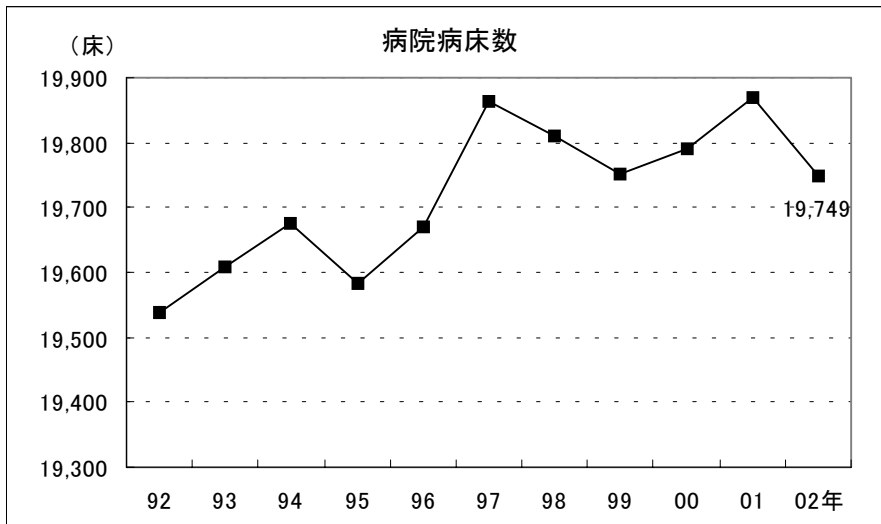


歯科診療所数は横ばい。

(資料)  
県福祉保健部  
「衛生統計年報」  
厚生労働省  
「医療施設調査・病院報告の  
概要」

3. 病床数の推移

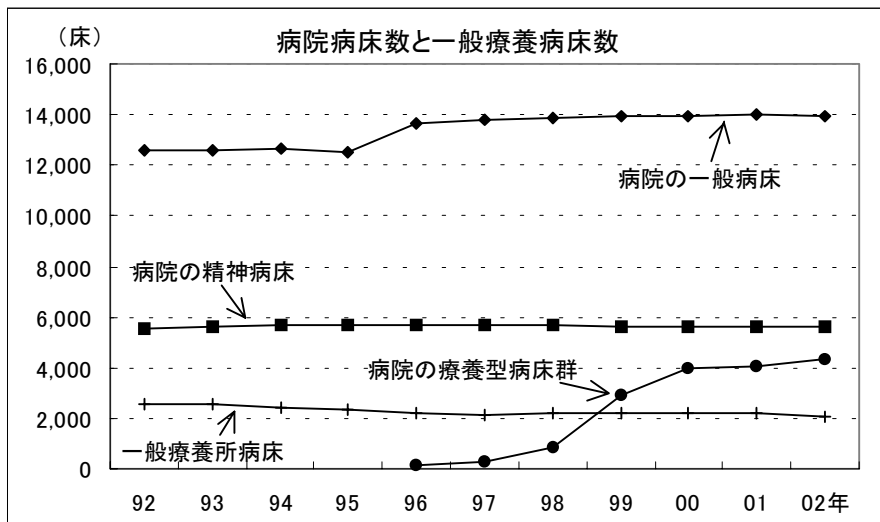
(1) 病院病床数の推移



02年は前年比大幅減少。

(資料)  
県福祉保健部  
「衛生統計年報」  
厚生労働省  
「医療施設調査・病院報告の  
概要」

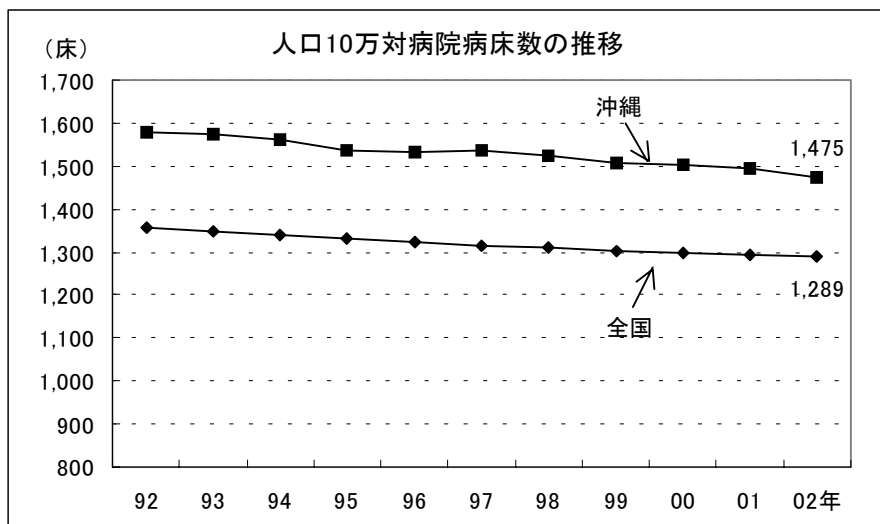
(2) 病院病床数(内訳)と一般病床数の推移



病院の一般病床は96年にらい病床が算入されて増加した以後は横ばい傾向となっている。病院の精神病床は横ばい。一般療養所病床は漸減。療養型病床群はひとりの伸びに鈍化傾向がみられる。

(資料)  
 県福祉保健部  
 「衛生統計年報」  
 厚生労働省  
 「医療施設調査・病院報告の概要」

(3) 人口10万対病院病床数の推移

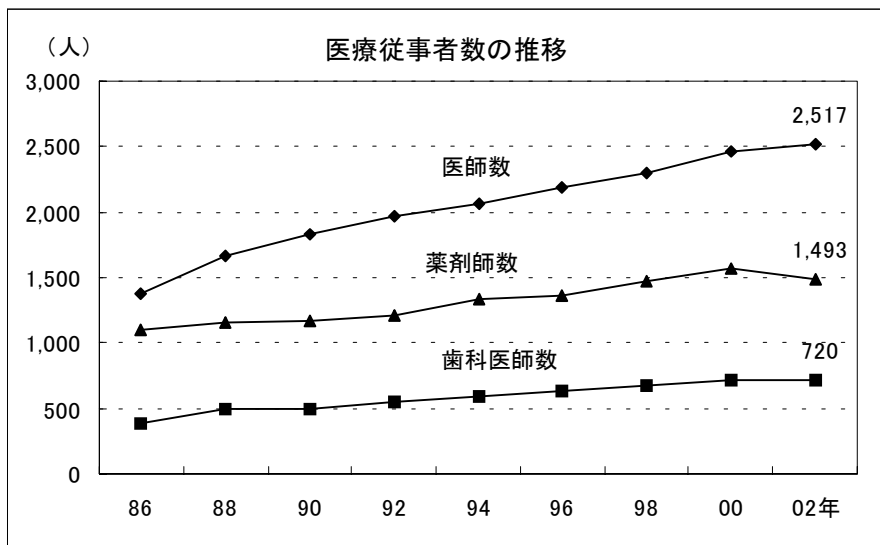


減少傾向続くが全国との比較では依然大幅に上回る状況続く。

(資料)  
 県福祉保健部  
 「衛生統計年報」  
 厚生労働省  
 「医療施設調査・病院報告の概要」

4. 医療従事者数の推移

4-1. 医師、歯科医師、薬剤師数の推移

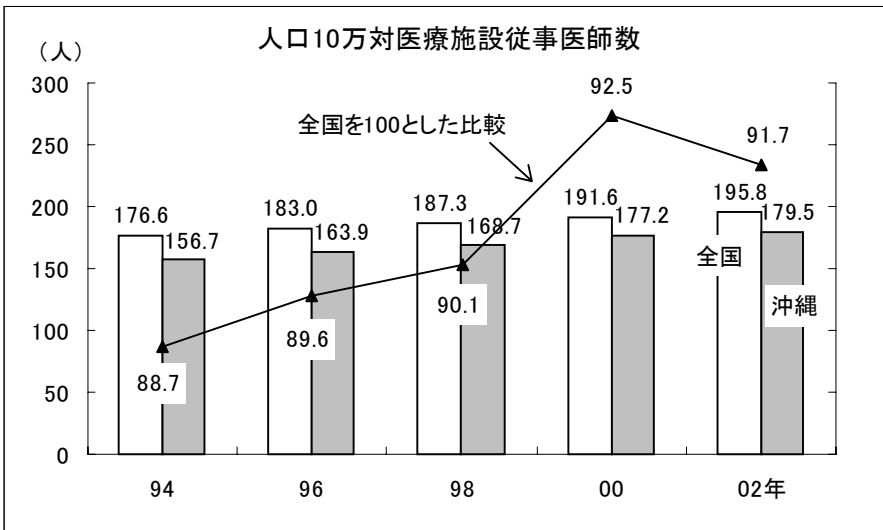


医師数は伸びが鈍化しつつも増加傾向にある。  
 歯科医師数は横ばい傾向へ。  
 薬剤師数は減少に転じた。

(資料)  
 県福祉保健部  
 「衛生統計年報」  
 厚生労働省  
 「医師・歯科医師・薬剤師調査の概況調査」

4 - 2 . 人口10万対医療従事者数の推移

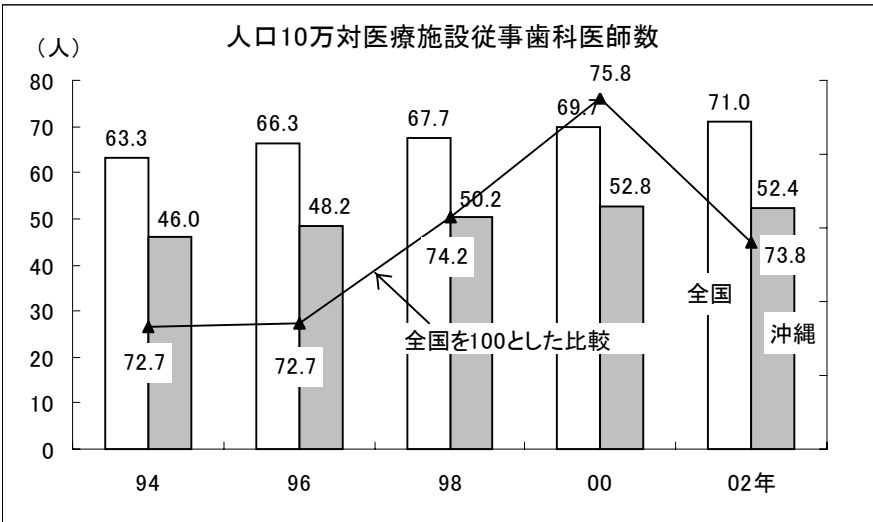
( 1 ) 医師数 ( 医療施設従事ベース ) の推移



増加を続けるも伸びはやや鈍化し、00年から02年にかけては全国との差は拡大へ転じた。

( 資料 )  
 県福祉保健部  
 「衛生統計年報」  
 厚生労働省  
 「医師・歯科医師・薬剤師調査の概況調査」

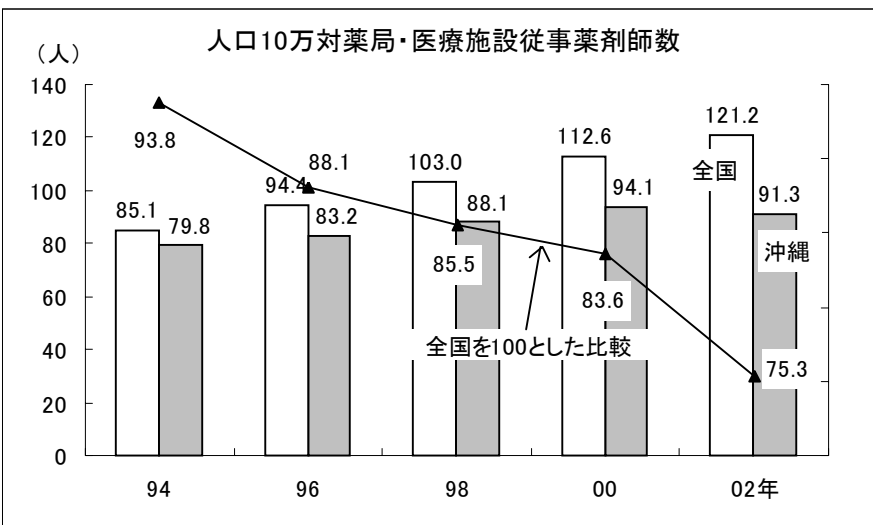
( 2 ) 歯科医師数 ( 医療施設従事ベース ) の推移



00年から02年にかけて伸びが減少へ転じ、全国との差も拡大した。

( 資料 )  
 県福祉保健部  
 「衛生統計年報」  
 厚生労働省  
 「医師・歯科医師・薬剤師調査の概況調査」

( 3 ) 薬剤師数 ( 薬局・医療施設従事ベース ) の推移

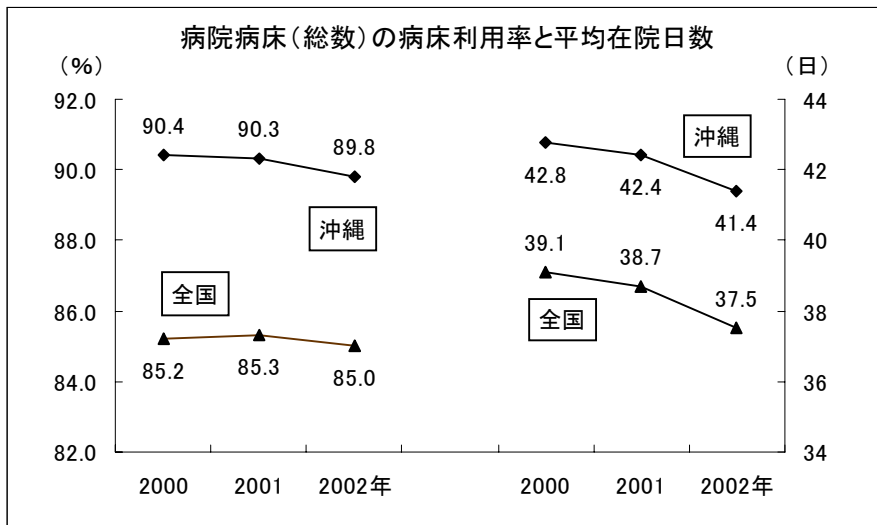


00年から02年にかけて減少し、増加を続ける全国との差が拡大した。

( 資料 )  
 県福祉保健部  
 「衛生統計年報」  
 厚生労働省  
 「医師・歯科医師・薬剤師調査の概況調査」

## 5. 病床種類別の利用率と在院日数の動向

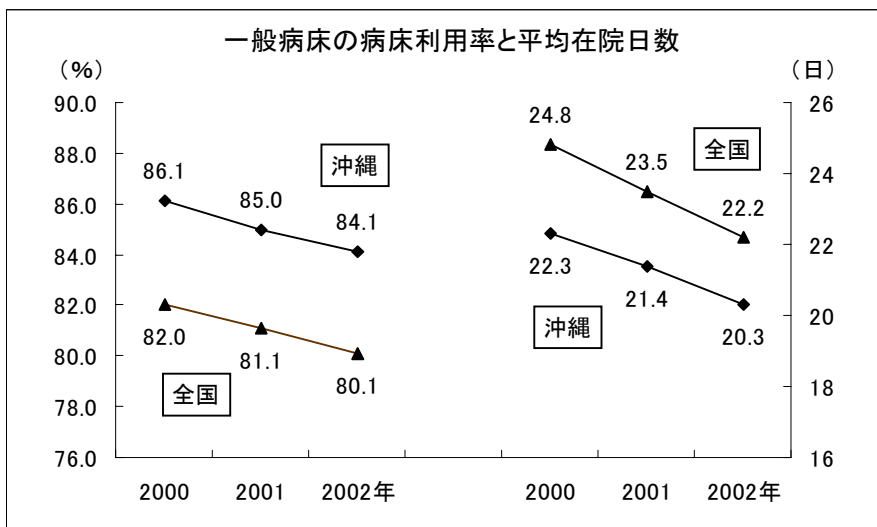
### (1) 病院病床(総数)



病院病床(総数)の病床利用率は低下傾向にあるが、全国に比べると高い。平均在院日数も短縮傾向にあるが、全国より長い。

厚生労働省  
「医療施設調査・病院報告の概要」

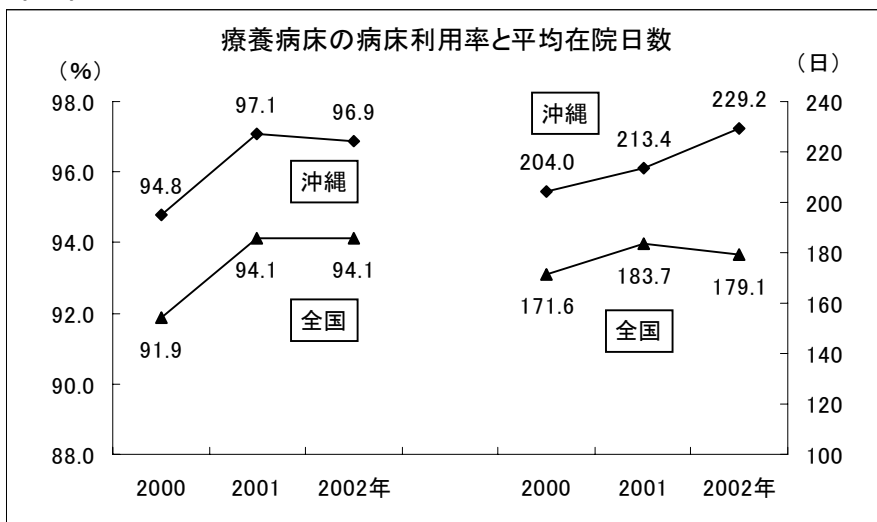
### (2) 一般病床



一般病床の病床利用率は減少傾向にあるが全国比では高い。平均在院日数は全国に比べると短い。

厚生労働省  
「医療施設調査・病院報告の概要」

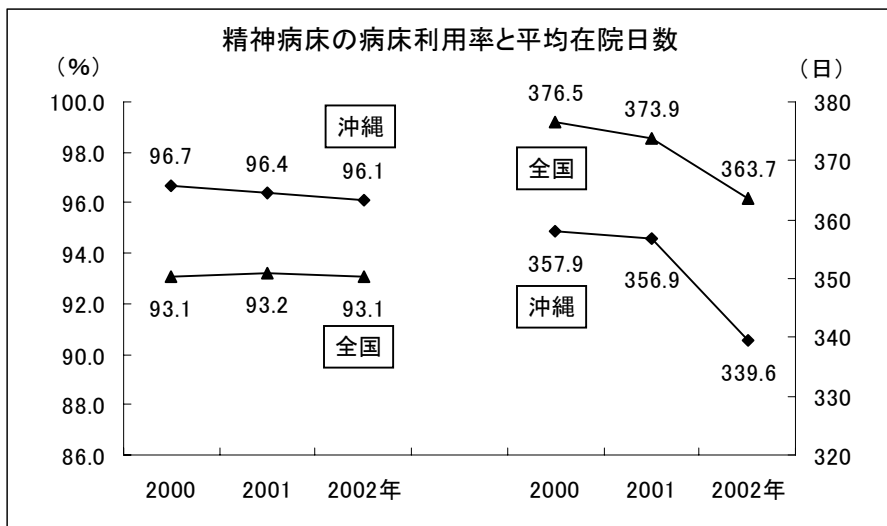
### (3) 療養病床



療養病床の病床利用率は低下。平均在院日数の全国は短縮へ転じたが、本県はより長期化の傾向強まる。

厚生労働省  
「医療施設調査・病院報告の概要」

(4) 精神病床



精神病床の病床利用率は全国比で高く、在院日数はより短縮する方向にある。

厚生労働省  
「医療施設調査・病院報告の概要」

< 参考 >

2次保健医療圏

圏域名	市町村名
北部保健医療圏 (9市町村)	名護市、国頭村、大宜味村、東村、今帰仁村、本部町、伊江村、伊平屋村、伊是名村
中部保健医療圏 (14市町村)	石川市、具志川市、宜野湾市、沖縄市、恩納村、宜野座村、金武町、与那城町、勝連町、読谷村、嘉手納町、北谷町、北中城村、中城村
南部保健医療圏 (21市町村)	那覇市、浦添市、糸満市、西原町、豊見城村、東風平町、具志頭村、玉城村、知念村、佐敷町、与那原町、大里村、南風原町、仲里村、具志川村、渡嘉敷村、座間味村、粟国村、渡名喜村、南大東村、北大東村
宮古保健医療圏 (6市町村)	平良市、城辺町、下地町、上野村、伊良部町、多良間村
八重山保健医療圏 (3市町村)	石垣市、竹富町、与那国町

(資料) 県福祉保健部「沖縄県保健医療計画 99年改訂」

(用語の解説)

- ・病院・・・医師又は歯科医師が医業又は歯科医業を行う場所であって、患者20人以上の入院施設を有するもの。
- ・一般診療所・・・医師又は歯科医師が医業又は歯科医業を行う場所(歯科医業のみは除く)であって、患者の入院施設を有しないもの又は患者19人以下の入院施設を有するもの。
- ・歯科診療所・・・歯科医師が歯科医業を行う場所であって、患者の入院施設を有しないもの又は患者19人以下の入院施設を有するもの。

(保健医療圏の区分)

- ・1次保健医療圏・・・県民の日常生活に密着した保健医療サービスを提供する圏域(市町村の行政区域)。
- ・2次保健医療圏・・・特殊なサービスを除く比較的専門性の高い保健医療サービスの完結を目指す圏域で、総合的な保健医療提供体制整備の基本となる圏域(複数の市町村を一つの単位とする)。
- ・3次保健医療圏・・・高度・特殊な技術、設備を必要とする保健医療サービスを提供する圏域(県全域)。